

**研究環境基盤部会 大学共同利用機関改革に関する作業部会（第4回） ヒアリング資料****機関名 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター****<主な論点>****① 検証の進め方（資料2-1）について**

- 「8. 大学の共同利用・共同研究拠点との関係」については、国立大学法人との関係性からしても重要な事項であると思われるが、現段階で、例えば各国立大学法人や国立大学協会とのコンセンサスが来ていないのであれば、この条項は削除すべきである。  
国立大学法人との足並みを揃える必要がある。
- 【要望】全体のスケジュールが厳しく、また第3期中期目標期間に係る4年目終了時評価（大学改革支援・学位授与機構）や第4期中期目標の策定などの作業もあるため、的確なスケジュールの進捗管理や連絡調整をお願いしたい。  
また検証内容についても、具体的にお示しいただくとともに、第3期評価との有機的な関係を明確にしてほしい。評価項目との関係に配慮していただきたい。
- 【要望】ガイドライン策定時には、説明会を開催してほしい。

**② 主な観点（資料2-2）について**

意見無し

**③ 指標例（資料2-2）について**

- 【要望】<中核拠点性>研究活動の状況の指標例について、人文・社会科学分野の場合には、3点について考慮する旨注記されているが、これに加えて、より適切に人文系を評価・検証できる指標を立ててほしい（論文に限らない研究成果（著書、分担執筆等）、外国語に限らない研究成果、海外での刊行に限らない研究成果 等）。
- 【要望】検証については、ガイドラインに基づいて検証を行うものの、各機関による個別の指標等を用いて検証することも可能としてほしい。

**④ 機能別分類（大型設備・データ・情報基盤）の観点（資料3別添）から、自己検証をする際に留意すべき点**

- 【要望】データベースについて、単なるアクセス数（量）ではなく、多様な活用度の指標を立ててほしい。